

東京言語研究所 オンライン公開講座

対面とことばによるコミュニケーション

＜講師＞ 山極 壽一氏

(京都大学前総長、総合地球環境学研究所長／霊長類学・人類学)

＜日時＞ 2021年6月5日(土) 14:00～17:00

＜参加費＞ 2,000円(税込) ※事前振込制

＜申込み＞ 「ホームページ申込フォーム」より

＜受講形式＞ ZOOMによるオンライン講義

＜注意事項＞

- ・オンライン講義の録画はできません。本番の視聴のみできます。
- ・一度お振込になった受講料は、いかなる場合も返金いたしません。

＜受講の流れ＞

1. 申込み／6月1日(火)10:00AM 締切
2. 受講料の振込み 申込期日と同日
3. ZOOM 視聴 URL を受け取る／6月2日(水)
4. 当日 13:45～13:55 に本番用 URL で入室。14:00 より講義開始。

＜受講料の振込先＞

○郵便振替 00110-8-43537

(名義)財団法人 ラボ国際交流センター

○銀行振込

りそな銀行(銀行コード番号 0010)

新都心営業部支店(支店番号 675)

普通預金 口座番号 6726641

(名義)公益財団法人ラボ国際交流センター

ザイ)ラボコクサイコウリユウセンター

講師略歴

1952年、東京都生まれ。京都大学前総長。京都大学理学部卒、京大大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学、理学博士。ゴリラ研究の世界的権威。ルワンダ・カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンターのリサーチフェロー、京大霊長類研究所助手、京大大学院理学研究科助教授を経て同教授。2014年10月から2020年3月まで京大総長、2017年6月から2019年6月まで国立大学協会会長、2017年10月から日本学術会議会長を兼任する。

講義要旨

ことばをもたないゴリラは相手の顔をのぞき込む対面交渉をよくする。一方、人間は対面しながら距離を置く。この違いはことばをしゃべることとともに、目の動きを通して相手の気持ちを探ることにある。それは、人類がゴリラ以上に共感力を高める必要があったからであり、熱帯雨林を出た人類の祖先が独自に発達させた直立二足歩行は共食、多産は共同保育をもたらした。それが今、新型コロナウイルスによる感染症の拡大によって危機に瀕している。新しい暮らしの方法、すなわち新しい社交をデザインしなければならない。それを人類の社会性とコミュニケーションをもとに考えてみたい。

問合せ先

公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒169-0072 新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル2階

TEL:03-6233-0631 E-mail:info@tokyo-gengo.gr.jp ホームページ:http://www.tokyo-gengo.gr.jp/